

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	中央公園再生整備事業	会計	一般会計	事業No.	595	施策順No.	46-012	
		事業種別	政策・その他	予算科目	8-4-5-11-2			
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課			
施策	46 活気ある街づくりの推進			事業期間	開始	21	終了	24

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民、来街者。						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	市民数:人	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	意図	中央公園を魅力ある施設とし、憩い、休息の場所として充分満足してもらう。						
	対象をどう変えるか	進捗率: % (当年度までの実施済額/全体事業費)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	
				0	20	20	40	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		東和町線道路改良と谷川改修事業の計画の進捗に合わせて、既存施設(樹木・遊具等)の撤去及び移設が順調に実施できた。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	中央公園(東和、吾妻)について、東和町線道路改良や谷川改修と並行して再整備を行う。 今期(H21~H24)のまちづくり交付金事業においては、東和公園部分の整備完了と吾妻公園部分計画設計完了。 A=0.69ha		
22年度事業内容	事業内容	名称	活動量・単位
	1 実施設計業務(東和・吾妻) A=0.69ha 2 中央公園(東和町)部分の既存施設撤去工事	1 実施設計業務委託 2 公園改修工事面積	1 1式 2 A=500㎡
23年度実施計画	中央公園(東和町)造成工事	公園改修面積	A=1500㎡

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	3,580	3,580	4,500	特定財源内訳、補足事項 (国)社会資本整備総合交付金(交付対象事業全体で4.5/10) (地)合併特例(充当率95%)
	一般財源	県支出金				
		起債	4,200	4,200	5,350	
		その他				
	計(A)	8,091	8,051	10,200		
正規職員所要時間			200			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			715			
トータルコスト A+B			8,766			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 公園整備要望は、市街地全域から強い要望がある。 東和公園部分の道路の改良と併せ、施政懇談会においても整備要望意見が出されている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	中心市街地に人や物が集まり活気がある。	施策の成果指標又はムトス指標	まちなかの6スポットの1日あたりの延べ歩行者数(本町1、銀座3、りんご並木、知久町1、駅前、中央通り) ⁴⁾
この事務事業は施策の目的達成にどのようにつながりましたか	4年間の振り返り	中心市街地活性化基本計画に基づき実施している。中心市街地の中央に位置し、憩いと安らぎの緑地帯として重要な役割を持つ中央公園の再生整備を計画・実施することは、中心市街地の活性化につながる。		
	後期に向けた課題	平成24年度までに東和・吾妻部分を再整備するが、引き続きプール跡地を含め、全体計画を立案し、再整備を進めることで、さらに賑わいと潤いの空間として機能する。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	東和・吾妻部分の整備には谷川の改修が必要であり、東和町線道路改良と谷川改修事業と併せて実施することで成果が向上できる。		
	後期に向けた課題	東和・吾妻部分に引き続きプール跡地を含め、全体計画を立案し、再整備を進めることで中央公園全体の魅力ある公園施設として成果がさらに向上する。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	東和町道路改良及び谷川改修事業の掘削土を造成工事に再利用しており、これらの事業を並行して進めることでコストを削減できている。		
	後期に向けた課題	今後も他事業と関連して進めることによりコストを削減できる。また、公園愛護会などが管理しやすい施設整備を進めることにより、維持管理コストを削減できる。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市が管理する都市公園であり、市が整備することが妥当。		
	後期に向けた課題	市が管理する都市公園であり、今後も市が管理する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	飯田市が管理する公園なので行政の果たす役割が大きい。中央公園の再整備にかかる計画案については、地域住民が積極的に関わり、意見を反映しながら作成する必要があることから、市民会議(ワークショップ)やパブリックコメント等を実施し、市民の役割を發揮できるよう配慮した。		
	後期に向けた課題	地域住民が積極的に関わり、意見を反映しながら整備し、公園愛護会やボランティアなどとの協調により施設の維持管理を進めていく必要がある。そのため飯田市では利用推進と管理方法などを含め地元住民と積極的に協議しながら進めていく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	公園の中央を流れる谷川の安全安心と、老朽化した遊具など施設の改善により、中央公園が再生することで、中心市街地の活性化と賑わい創出に寄与することとなる。		
	後期に向けた課題	平成24年度までに東和・吾妻部分を再整備するが、引き続きプール跡地を含め、全体計画を立案し、再整備を進める必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------